

新料金表改定案（H32年度改定、口径別）

現行「営業用」

【現行】 単位：円、消費税抜き、1ヶ月当り

用途	従量料金（㎡当り）			量水器使用料	
	基本料金 0～8㎡	9～20㎡	21㎡～	口径	使用料
営業用	1,224	153	198	13mm	75
				20mm	145
				25mm	175
				40mm	305
				50mm	1,110
				75mm	1,415
				100mm	2,135
				該当なし	

平均使用水量	料金
15	2,370
38	6,769
83	15,709
191	37,223
556	110,298
1,756	348,203
該当なし	

【案1】 単位：円、消費税抜き、1ヶ月当り

口径	従量料金（㎡当り）			
	基本料金 0～8㎡	9～20㎡	21～50㎡	51㎡～
13mm	1,350	155	180	200
20mm	1,500			
25mm	2,450			
40mm	3,900			
50mm	8,500			
75mm	26,400			
100mm	48,100			
該当なし				

平均使用水量	料金	増額分	改定率
15	2,435	65	2.7%
38	6,600	△169	-2.5%
83	16,310	601	3.8%
191	39,360	2,137	5.7%
556	116,960	6,662	6.0%
1,756	374,860	26,657	7.7%
該当なし			

□水道料金の改定について

内部留保資金残高	12億円程度を確保
建設改良費	年間4億円
企業債	1億円借入
増収目標額	2億円程度
基本料金・従量料金割合	基本料金31.37%、従量料金68.63%

□設定条件及び特徴

設定条件等	○費用負担の公平と料金体系の明確性の確保を図るため、用途別から口径別への料金体系の見直しを図る。 ○平均改定率25% ○13mm～20mm 2.7%、△2.5% 25mm 3.8% 40mm～75mm 5.7%、6.0%、7.7%
特徴	○現行の「営業用」料金体系は、もとより他の用途に比べ負担割合が高く設定されていることから、結果として全ての口径において改定率は低くなる。（平均改定率25%） ○基本料金35.89%、従量料金64.11%

【案2】 単位：円、消費税抜き、1ヶ月当り

口径	従量料金（㎡当り）			
	基本料金 0～8㎡	9～20㎡	21～50㎡	51㎡～
13mm	1,250	160	180	200
20mm	1,700			
25mm	2,450			
40mm	3,900			
50mm	8,500			
75mm	26,400			
100mm	48,100			
該当なし				

平均使用水量	料金	増額分	改定率
15	2,370	0	0.0%
38	6,860	91	1.3%
83	16,370	661	4.2%
191	39,420	2,197	5.9%
556	117,020	6,722	6.1%
1,756	374,920	26,717	7.7%
該当なし			

【案3】 単位：円、消費税抜き、1ヶ月当り

口径	従量料金（㎡当り）			
	基本料金 0～8㎡	9～20㎡	21～50㎡	51㎡～
13mm	1,200	145	185	230
20mm	1,330			
25mm	1,650			
40mm	3,800			
50mm	7,100			
75mm	19,400			
100mm	28,100			
該当なし				

平均使用水量	料金	増額分	改定率
15	2,215	△155	-6.5%
38	6,400	△369	-5.5%
83	16,530	821	5.2%
191	43,520	6,297	16.9%
556	130,770	20,472	18.6%
1,756	419,070	70,867	20.4%
該当なし			

□設定条件及び特徴

設定条件等	○平均改定率25% ○13mm～20mm 0.0%、1.3% 25mm 4.2% 40mm～75mm 5.9%、6.1%、7.7%
特徴	○「案1」に比べ、小口径、中口径ごとの改定率の平準化を図り全体で改定率25%に調整する。 ○「案1」に比べ、基本料金への負担割合は下がる（35.85%）が、従量料金への負担割合は上がる（64.15%）こととなる。

□設定条件及び特徴

設定条件等	○平均改定率25% ○13mm～20mm △6.5%、△5.5% 25mm 5.2% 40mm～75mm 16.9%、18.6%、20.4%
特徴	○「案1」に比べ小口径の改定率をさらに低く抑える一方で、中口径の改定率を上げ、これにより全体で改定率25%に調整する。 ○基本料金への負担割合は最も低くなるが、口径間の改定率の格差は広がることとなる。 ○基本料金31.03%、従量料金68.97%